

異常な安倍暴走 強行採決を連発

数の暴力必ず国民の審判

「わが党は結党以来、強行採決しようと考えたことはない」と、うそぶいた安倍首相。実際は、強行採決の連発でした。



採決強行で委員長席に詰め寄り抗議する野党議員 11月4日、衆院TPP特委

市民＋野党の力で政治を変えよう

昨年9月に、憲法違反の安保法制＝戦争法を強行してから、安倍政権の暴走に歯止めがなくなっています。メディアから「巨大与党のおごり」（「朝日」）などの批判が高まり、カジノ法案については経団連の榊原定征会長も「拙速な審議は避け、しっかり議論してほしい」と注文したほど。

「数の暴力によって議会制民主主義を壊すやり方を繰り返せば、必ず国民の厳しい審判を受けることになる」。

総選挙へ共闘を

日本共産党の志位和夫委員長は強く批判しています（11月25日）。

どうすれば安倍政権をストップできるか。希望は、野党と市民の共闘です。総選挙に向け、野党と市民団体との政策協議が進んでいます。

日本共産党

自民・公明・維新

悪法をゴリ押し

“悪政3兄弟”にレッドカードを



「悪政3兄弟」に総選挙で審判を」と訴える日本共産党・志位和夫委員長（左から3人目） 11月3日、大阪市中央区

カジノ TPP 年金カット 多数の声ふみつけ

TPP—多国籍企業の利益のために日本の経済・食料主権が脅かされる。年金カット—際限のない年金削減の新たなルールを持ち込む。カジノ解禁—刑法で禁じられた賭博を解禁し、新たなギャンブル依存を生み出す。世論調査では、いずれも「反対」「慎重審議」が多数。しかし自民、公明と維新が強行しました。

強行にことごとく加担し、「与党化くつきり」（「東京」

日本共産党

の維新。「カジノ」を巡っては、大阪で「カジノ万博」を開催したい維新と、改憲に協力してもらいたい安倍政権の思惑の一致が指摘されています。

次の総選挙では、国民の多数の声を踏みつけにして暴走する”悪政推進の3兄弟”の自民、公明、維新に退場の審判を下しましょう。

しんぶん赤旗

日刊 16 ページ
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版 36 ページ
(毎週配達されます)
月823円

お申し込みは
お近くの党事務所か
黨員までお願いします

近畿民報

2016年12月 No.3 (第257号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。

折り目